

(平成29年度)第1回運営推進会議実施報告書

平成29年9月20日

事業所名	大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンター	サービスの種類	認知症対応通所介護
電話番号	03 (3750) 8701		
開催日時	平成 29 年 9 月 14 日(木) 12:30 ~ 15:30		
開催場所	大田区立特別養護老人ホームたまがわ 多目的室		
出席者 8人	(内訳)		
	利用者		
	利用者家族	2名	
	地域の代表	民生児童委員	1名
	区・地域包括支援センター	1名	
事務局			
事業所職員 4名			
◆活動報告・活動計画 別紙資料のとおり。			
◆活動報告・計画に対する評価			
【家族】 開催行事について、外出訓練、子ども達との交流会等、充実しており、とても良いと思います。甘味処出張販売は、屋外で開催しているようで、地域の人から見ても良いと思います。			
【民生委員】 利用人数について、何年か前は、当日のスポット利用が出来ない様な定員であったようですが最近、利用人数が減少している様に思われます。			
【地域包括支援センター】 認知症対応型のデイサービスが多い中で、これほど利用されている事業所は、あまりみられません。利用者の対応方法が良かったり、行事イベントに工夫されており、利用される方が多いと思います。 児童館や保育園の子ども達といった、多世代交流は、とても良いと思います。下丸子4丁目児童館で、認知症サポーター講習を実施した際、普段デイサービスの高齢者と接しているので、車椅子の話をした時等、自然に話げできました。そのようなことで、今後も高齢者と子ども達と交流を続けて欲しいです。			
◆事業所に対する要望・意見			
【家族】 (要望①) 現在、お泊りデイを利用しています。ショートステイ利用時には、日中デイサービスのようなプログラムのようなケアをしてもらいたいと思います。例えば、日中デイサービスをりょうして、そのままショートステイで泊まり、翌日デイサービスを利用できるようにしてほしいです。 日曜日等休みの後など、動きが良くないのですが、デイサービスを利用すると元気になります。歩行状態も良くなるので、助かっていました。			
【民生委員】 家族が施設入所をすると、「お母さん(お父さん)施設に入所することができて良かったですね」と言われることがあります。しかし、家族としては、今まで一緒に暮らしてきた、親を施設に入所出来て良かったと思ったことはありません。子どもの頃、手を引いてくれた、親が、高齢になって、一人で生活することが難しくなって、デイサービスを利用しながら、最後まで、在宅で生活を、送ってほしいと思っていました。しかし、どうしても在宅生活が難しくなり、色々な葛藤がありました。よく考えた末、施設入所を決断しました。それでも正しかったのか、間違っていたのか未だに悩みます。 そんな中、ある民間の特養に民生委員の人達で見学に行く機会があったのですが、人として接するのではなく、効率化を追い求めている施設もありました。家族が、どのような思いで入所という決断に至ったのかを理解して、人を人として大切にしてほしいと思う施設がありました。 デイサービスは、送迎一つとっても、その人に合わせて、送迎をしてくれて、利用者一人ひとりに対応してくれるので、利用が出来て良かったと思います。			

◆要望・意見に対する事業所からの回答

【デイサービス】

①お泊りデイサービスや小規模多機能施設であれば、デイサービスを利用しショートステイで泊まることも可能であるが、現状、デイサービスを利用しながら、その日の夜だけどこかの施設でショートステイというサービスが提供できるかという制度上、原則できません。

◆地域・行政等からの情報提供

【家族】

地域の方とお話することがあり、デイサービスなどの施設を知らない人が結構います。デイサービスなど良いところがあることを話しています。車椅子の貸し出しもしてくれることを教えてあげたこともあります。

【民生委員】

パークハウスでは、老々介護になっている世帯が多くなってきています。パークハウスのある世帯で、夫婦二人暮らしをしていました。ある時、夫婦ふたりで倒れていたことがあり、助けを呼ぶことができなかったようです。安否確認をしようとしても、合い鍵もなく、避難ばしごから部屋に入ったことがありました。パークハウスでは、80歳過ぎても介護認定を受けていない人もいます。何かあってからではなく、何も無い時に認定を受けていれば、いつでも施設を利用できるので、認定を受けてもらいたいです。奥ゆかしいと言うか、外との関係を絶ってしまいます。そのようなこともあり、なかなか外に出てきてくれません。自治体、民生委員から各高齢者世帯を訪問していきたいと思っています。iPadなどで、ラインSNS等をやることで外部とコミュニケーションをとることもできて、本人の安否確認も出来ます。また、写真等も送信することができるので楽しみも増えた方もいらっしゃいます。

高齢者世帯を訪問する時、介護ケアの専門家の力を借りて、訪問をして例えば、その場で、簡単なレクリエーションなどやってもらい、笑ってもらえれば、今度そのデイサービスに行ってみたいと施設利用につながっていくと思います。

【地域包括支援センター】

①高齢者世帯を個別訪問をしていきたいが、突然来る人は、なかなか開けてもらえません。閉ざされた所を開けてもらう事は、大変ですが、民生委員と協力をして、見守りキーホルダーなどを活用して個別訪問をしていきたいと思っています。1年に1回更新なので確認も出来る知っている人から口コミだと安心されます。知っている人がいるから行ってみようと思うこともあります。

◆その他・特記事項

次回予定：平成30年2月15日（木） 14：00～